

経営体の概要

- ・所在地：三重県津市
- ・経営体名：株式会社浅井農園
- ・栽培作物：ミニトマト、トマト
- ・作付面積：1.6 ha
- ・従業員数：41名うちパート31名(平成30年3月現在)

導入技術

- ・スペイン型ハウス
→ オランダ型ハウスに比べて設備費が低い
- ・高度環境制御システム iSii(hoogendoorn製(オランダ))
培地センサー Grosens(Grodan製(オランダ))
→ ICTを活用した複合環境制御技術によりハウス内環境や培地環境をモニタリング
- ・雇用型生産管理システム Work-IT(hoogendoorn製)
→ 一人一人の作業状況等をコンピューターで一元管理



雇用型生産
管理システム



高度環境制御
システムのセンサー



スペイン型ハウス

導入経緯

- 次世代型大規模施設園芸では周年安定供給が実現可能となるが、初期コストや労務管理等が導入に向けての課題となっている。
- そこで、初期コストを抑えたハウスでの収量確保技術、システムを活用した労務管理手法を実証・検討する。

取組の特徴・効果

- オランダ型フェンローハウスより設備費の低いスペイン型ハウスを平成29年度に整備。
初期コストを抑えたハウスでの実証を平成30年度より開始する。
- 高い生産性の実現に向け、高度環境制御システム及び雇用型生産管理システムを平成29年度に導入し、これら技術の実証に取り組む。
- (株)浅井農園、実需者、大学、三重トマトブランド化推進協議会、三重県からなる「みえ次世代施設園芸コンソーシアム」を設立。次世代型施設園芸の技術実証や普及に向けた以下の活動を行う。
 - ①次世代施設園芸の促進に向けた検討会の実施
 - ②技術習得及び普及に向けた勉強会の開催
 - ③技術習得及び普及に向けた研修生の受入
- 目標単収(平成34年度)

ミニトマト:	14.1 t/10a(平成27年度)	→	18 t/10a
トマト:			40 t/10a